



噴水照明

ご使用になれる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合ランプ	使用電圧
AE-2063	アイ ダイクロクルールハロゲンランプ JR12V65WUV/MK5 ×1	AC12V

この取扱説明書のマークについて。

- ⚠ 警告 説明書中の 警告 は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ 注意 説明書中の 注意 は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け、取り扱い上の注意

⚠ 警告

- 傷んだキャブタイアコード（被覆の傷や芯線の露出など）はそのまま使用せず、交換してください。
- 噴水専用型器具です。プール、浴室など人の入る場所には設置しないでください。
★絶縁不良による器具破損の原因となります。
- ⚠ 注意 水深1m以内に設置してください。
★絶縁不良による漏電、感電事故の原因となります。
- 噴水照明器具は、必ず水中で点灯してご使用ください。海水、温泉での使用は出来ません。
（使範囲 PH7.0~PH8.2）
★異常加熱による、器具の故障や、腐食による器具破損の原因となります。
- 施工およびランプ交換の際には器具内に水滴が入らないようにご注意ください。
★絶縁不良による漏電、感電事故の原因または、器具の破損の原因となります。
- 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。
- 電源線は2種EP絶縁クロロプレンゴムキャブタイヤケーブル(2PNCT)3芯φ11.0~13.0専用です。くだ
★他のケーブルでは浸水の原因となり、絶縁不良による感電の原因となります。
- ダウントランスは、専用トランス(TG-219)以外は使用しないでください。
★絶縁不良による漏電、感電事故の原因または、器具の破損の原因となります。
- ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

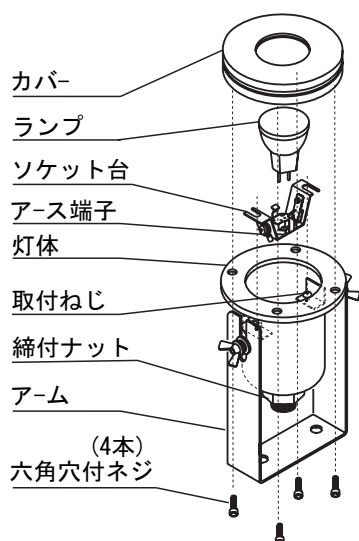
⚠ 注意

- AC12V専用です。必ずAC12V（定格電圧6%）の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、ランプの短寿命の原因となることがあります。
- この器具は水温35℃以下で使用してください。
★過熱して、器具破損の原因となります。
- 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。
- 工事方法は、電気設備技術基準第234条および、内線規定3550を参照してください。

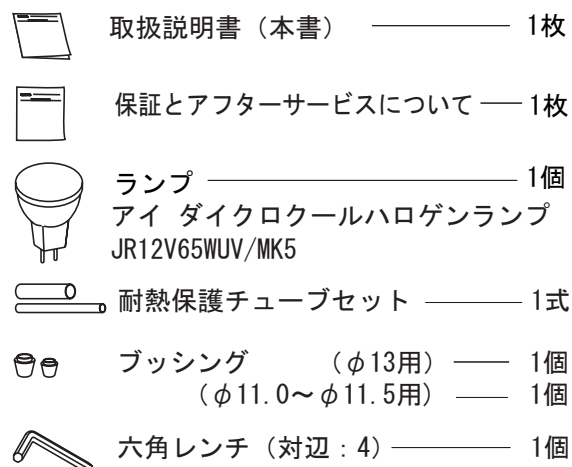
各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

器具構成図



付属品



取り付け場所の確認

⚠ 注意 次のような場所への取り付けはしないでください。

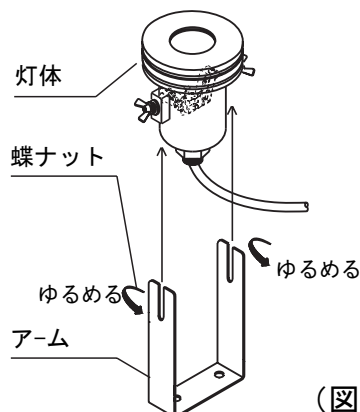
- 噴水専用型器具です。プール、浴室など人の入る場所には設置しないでください。
★絶縁不良による器具破損の原因となります。
- 噴水照明器具は、必ず水中で点灯してご使用ください。海水、温泉での使用は出来ません。
(使範囲 PH7.0～PH8.2)

* 水深1m以内に設置してください。水中以外でのご使用はできません。

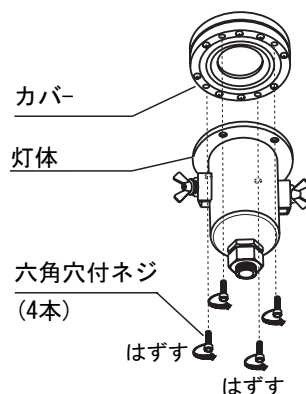
* 電源線は2種EP絶縁クロロブレンゴムキャブタイヤケーブル(2PNCT)3芯φ11.0～13.0専用です。
他のケーブルでは浸水の原因となり、絶縁不良による感電、火災の原因となります。

● 器具を取り付ける前に。

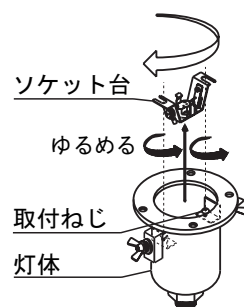
- ① 蝶ナット(2本)を緩めてアームから灯体を引き抜きます。
- ② 六角穴付ネジ(4本)を六角レンチではずし、カバーを灯体から取りはずしてください。
- ③ ネジ(2本)をゆるめて、ソケット台を半回転させ灯体からはずします。



(図1)



(図2)

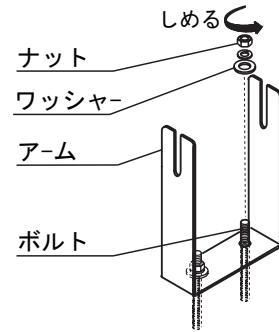


(図3)

● 取り付け方 ⚠ 注意 ! 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

1、アームを取り付けます。 (図1)

六角ナット、ワッシャー(2個)で
締め付け固定します。



(図1)

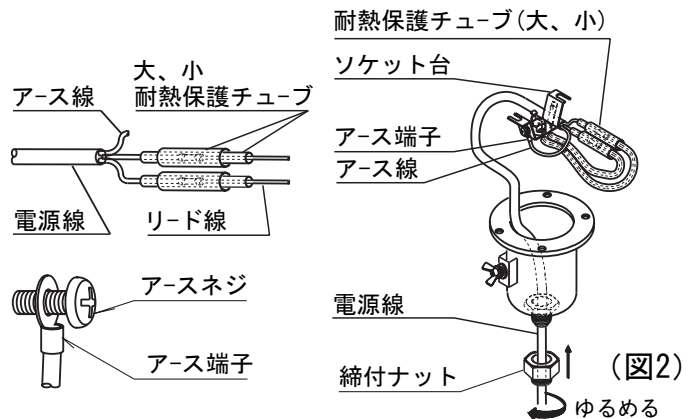
2、電源線を接続します。 (図2)

締め付けナットをゆるめて電源線を差し込み
灯体内に引き込みます。

電源線の被覆をむき、耐熱保護チューブを通し
リード線と接続してください。

ソケット台のコード止板で固定してください。

アース線を接続します。
ソケット台に付いているアース端子に
接続してください。



* 電源線は2種EP絶縁クロロプレンゴムキャブタイヤケーブル(2PNCT)で
3芯Φ11.0~13.0専用で、他のケーブルでは浸水の原因となります。

⚠ 注意 耐熱保護チューブは必ず使用してください。

⚠ 警告 必ずC種接地工事を施してください。C種接地工事は、電気設備技術基準に従って確実に行って下さい。

3、ソケット台を取り付けます。(図3)

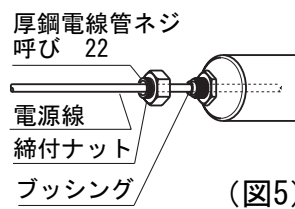
取付ねじ(2本)で灯体に
取り付け固定します。

4、ランプをセットします。 (図4)

ランプをソケットに差し込みます。

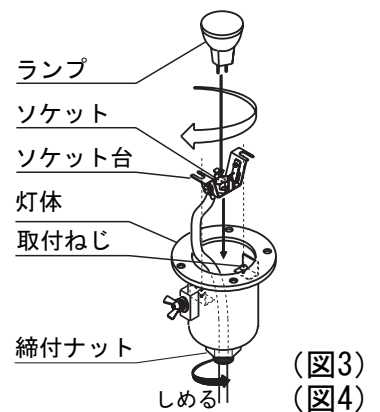
5、電源線を灯体におさめます。(図5)

灯体内に電源線を引き込んで
水もれのないよう
締め付けナットを強く
締め付けてください。



(図5)

* ブッシングは2種類同梱していますので、
使用ケーブルにあわせてご使用ください。



(図3)

(図4)

6、カバーを取付けます。 (図6)

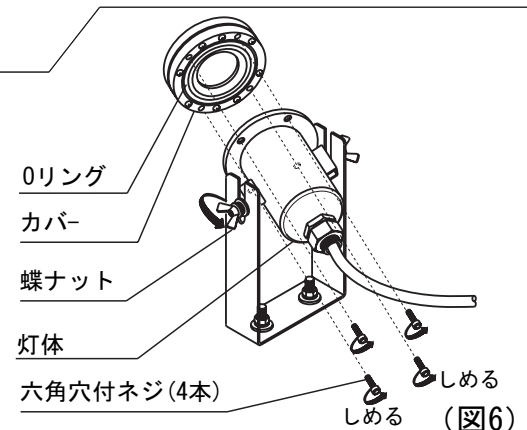
灯体の裏側から六角穴付ねじ(4本)を六角レンチで
締め付けて、灯体のカバーを取付けます。

* Oリングは必ず溝にはまっている事を
確認してください。

照射方向を決めます。

灯体を照射方向に向け位置を決めたら

蝶ナットで締め付け固定します。



(図6)

● お手入れについて ⚠ 注意

- こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。

⚠ 警告

- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。
- スイッチを切った直後のランプは熱くなっていますので絶対に素手で触らないでください。
冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れて怪我をする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ ランプの交換

1 スイッチを切ります。

- ⚠ 注意 ランプ交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2 灯体を水中から取り出します。(図2)

蝶ナット(2本)を緩めてアームから灯体を引き抜きます。

3 カバーを外します。(図3)

六角穴付ネジ(4本)をはずしてカバーを外します。

4 ランプを交換します。(図4)

開口部より手を差し込みランプを引き抜きます。
新しいランプと交換します。

*必ず適合ランプを御使用ください。

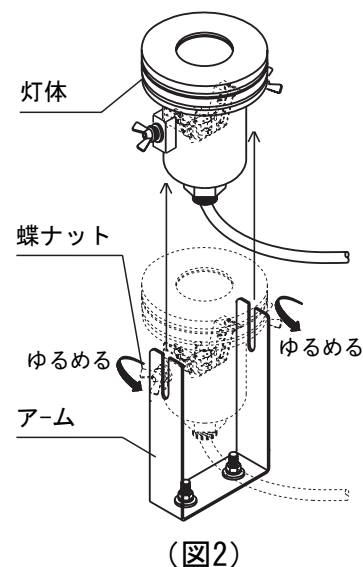
- ⚠ 注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。

*施工およびランプ交換の際には器具内に水滴が入らないようにご注意ください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。

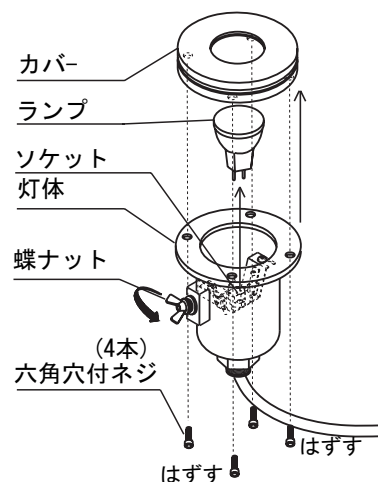
- ランプ交換の際には内部のOリング(P75)交換も同じに行ってください。
Oリングは、市販品又は、山田照明担当者迄ご相談ください。

5 カバーを取り付けます。

灯体の裏側から六角穴付ねじ(4本)を六角レンチで締付けて、灯体にカバーを取付けます。



(図2)



(図3) (図4)

■ アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。